

公益社団法人 三国・芦原・金津青年会議所 2018年度
スローガン・基本理念・基本方針・運営方針

2018年度理事長 丸井 久明

【スローガン】

成長から進化へ

～より地域に必要なMAKに変わる変える～

注：MAK=Mikuni.Awara.Kanazu（三国・芦原・金津）

【基本理念】

●はじめに

私が青年会議所(JC)に入会して10年が過ぎました。仕事をおろそかにせず、JC運動もがんばるということを意識しながらやってきましたので、傍目からはそこまでJC熱は高く感じられなかったのではないかと思います。

私自身が体験してきた言葉に、「いい出会いや環境が、人を成長させ 変える」という言葉があります。JCで出会って時間を共有してきた仲間は、いつも高い意識で熱く、接する私の意識やJC熱も着実に高め、成長させてくれました。特に、2017年度の福井ブロック協議会へ出向させて頂いたことが大きな転機で、2018年度はぜひ理事長として、私のJC熱でメンバーやJC以外の人たちも熱くさせていきたいと思います。

JC運動を続けてきて周囲を見渡した時、気づいたことがあります。それは、地域のまちづくりやひとづくりの中心には、JCを卒業された先輩や現役メンバーが多く携わり、地域を牽引しているということです。これからの5年先、10年先の地域を担うリーダーもJCを経験された方が中心になっていくと思います。だからこそ、私たちの成長こそが明るい豊かな社会へこの地域を進化させるために必要不可欠です。

そのためにはメンバーを含めたMAK・JC全体がさらに変わらないといけない。古きよきものは継続して活かしながら、今の時流に合わせて必要なものは新しく取り込み進化していかなければなりません。一つ一つの積み重ねを通じて1年後に成長から進化を感じられるようにします。

そこで、2018年度の運営は、会社に置き換えて運営した方が私自身、結果が必ず出せると考え、経営させて頂きます。

私が会社経営する上で大事にしている考え方の一つに、「いかに経営資源を有効活用して、大きな利益（結果）を獲得するか」というものがあります。ここでの経営資源は、「ヒト、モノ、カネ、情報、知恵・技術」を指します。いくらLOMに有能なメンバーがいても成長や活躍の機会、運営資金など、しっかりとした体制がなければ、十分な結果を残せません。逆に、良質な経営資源をいかに確保できるかで、LOMの組織力や価値、地域に対する影響力を決めてしまうと言っても過言ではありません。

●MAKの根幹！ メンバーの成長と会員の拡大【ヒト】

池田会頭の所信にある「和」、『それぞれが力を発揮して、調和がとれている状態。これは新しいものを生み出す大きな力となるが、「和」を実現することは容易ではない。』という一文に興味と共感を持ち、この「和」をMAK・JCの理想のあるべき姿として目指したいと思います。ただ、どれだけ素晴らしい理想を掲げても、行動に移すことができなければ、メンバーの協力がなければ達成することはできません。よくJCは「JC運動を通じて様々な機会や出会いがあるが、それを自分のものにできるかどうかは本人次第」だと言われます。しかし、本人だけに任せるのではなく、地域やその人にとって何が重要なのかというきっかけや機会も与え、その人の最大限の成長を狙うことにより、「和」の実現に近づけます。

また、JC運動を活発化するためには、やはり人の力の拡大、会員の拡大が必要不可欠です。私は地域にJCはなくてはならない存在、JCがなければ地域の未来が暗くなるとまで思っています。JCの認知を上げ、影響力を拡げ、地域におけるリーダーとしてのJCのポジションを確立し、「JCだったら、ぜひ入会させよう。」と言ってもらえるようにしていきます。【ヒト】は、全ての経営資源と関係性が深い要素であり、LOMにとっての最重要事項です。2018年度中に新しい会員拡大のシステムを作り、2018年度以降も継続して活用できるようにしていきます。個々の成長と会員の拡大の先にこそMAK・JCの進化があります。

●MAKの顔！ 行政と連携した事業や例会アワー【モノ】

MAK・JCの事業や例会アワーは、もっと時流に合わせ、行政や地域に耳を傾けて事業を行えば、今まで以上の大きな結果や評価を得ることができると私は思います。さらに、JCが掲げる「明るい豊かな社会を築く」という目的とあわら市、坂井市が今取り組んでいる地方創生（人口減少対策、雇用創出、経済・観光の活性化、地域のリーダー作り等）は、そう違わない共通の目的として一緒に取り組みをした方が相乗効果が生まれ、目的の実現に向けて加速することができます。2018年度は、より地域にとってMAK・JCが必要だと言ってもらえるような流れを行政や地域と連携した事業や例会アワーを通して作り、結果を残したいと思います。

私達の周りでは10月に福井しあわせ元気国体、5年後の2023年には北陸新幹線の金沢―敦賀延伸など、今取り組まないといけないことが目の前にあります。これをチャンスととらえ大いに地域に貢献してMAK・JCもアピールしていきます。そして、この流れを継続させるために2018年中に行政、まちづくり団体、協力団体とのネットワークも構築、強化します。

●MAKの源！ 運動をするにあたりなくてはならない【オカネ】

【オカネ】は継続した運営をする上で、事業や例会アワーを行う上でもなくてはならないものです。今のLOMの現状は、会員の年会費や協賛金、公益事業基金を取り崩すことで運営資金をやりくりしてきましたが、それも限界に近づいています。他に別の資金源を見出さなければ、やりたい運動も活動の規模縮小を考えなければなりません。2018年度は、県や市等の助成金や企業の協賛金を獲得できるように積極的に動き、追加の新しい運営資金をみつけます。もし、獲得できたのであれば継続できるようにし、獲

得できなかったとしても次年度につながるようにまとめ引継ぎます。また、各委員会の事業単位での財政管理をすることにより、資金の有効活用に努めます。

●MAKの武器！ 情報発信をストロングポイントに【情報】

MAK・JCの活動情報を発信する上で、HPとSNSは必要不可欠なものです。なぜ必要かと言うと、MAK・JCの運動を対外に向け発信し、誰でも気軽に触れて閲覧することができるものだからです。そこで、2018年度は今まで以上に更新に力を入れます。さらに、それだけのツールだけでは足りないと考え、新ツールの「MAK・JCレター」を作成します。まずは、行政やまちづくり・ひとづくりをしている団体、協力してくれている団体や個人に発信していきます。これにより、私達の活動内容を知ってもらうことで認知を上げ、イベントへの参加、協力や連携などに活かしていきますが、それ以上の結果が必ずついてくると思います。知ってもらうことで、メンバーはいろいろな取り組みに対し注目されるので責任やプレッシャーは増しますが、運動を通して結果を出した時の評価は何倍にも高まり、期待につながります。ITをMAKのストロングポイントとし、情報の双方向での発信・受信に力を入れ、MAK・JCの組織力を向上させます。

●MAKの財産！ 先輩達の英知を活かそう【知恵・技術】

2018年度でMAK・JCは49年目を迎えます。ということは、今までの48年間の諸先輩の方々が培ってきた貴重な経験やノウハウ、事業データ等が多く存在することを意味します。「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」という言葉があるように、これを活かす方法として情報のデータベース化に取り組みます。そして、今までの事業データを委員会やメンバー個人で検索しやすいように加工し、Dropbox上で誰もが閲覧しやすい環境を整えます。ゼロからの事業の構築も大切ですが、よりレベルの高い事業や例会アワーにつながり、組織力の強化にもつながります。

●結びに

「継続は力なり」が私の座右の銘ですが、意味は「個々の成果は微々たるものであっても、地道に成果を積み重ねていけば、やがて大きな事業を達成できる。目標を達成できる。」です。

2018年度は、MAK・JCの今までのいいところはそのまま活かし、新しいことにチャレンジし続け、会員の成長と拡大、時流や行政、地域の声に耳を傾けた運動ができるように進化していきます。それをITで活用することで、最大限の結果をMAK・JCにもたらすのが私の使命だと考えます。必ず結果を残すことを誓いますので、メンバーや関係する方々はぜひ協力をして頂きたいです。2018年度の結果（＝利益＝成長・評価）は必ずMAK・JCを進化させ、よりよい明るい豊かな社会に向けた運動を加速することができます。成長し進化するのはおれたちだ！

【基本方針】

- ・会員の最大限の成長
- ・会員の拡大が継続できるシステムの構築

- ・ 行政や他団体と連携したまちづくり
- ・ 地域の担い手を育む青少年育成
- ・ 新しい運営資金獲得への運動
- ・ 会員相互のビジネス交流
- ・ IT MAK実現への取り組み
- ・ 情報の送受信強化、認知向上
- ・ 知的財産のデータベース化、マニュアル化

【運営方針】

- ・ 会員の育成・成長によるMAK・JCの進化
- ・ 拡大進捗状況を全員が把握しつつ、会員の増員に取り組む
- ・ 他団体との連携・協力を強化するための人的ネットワークの構築
- ・ 助成金・協賛金の財源確保による、更なる事業拡大
- ・ 会報MAK・JCレターを作成し、関係する全ての団体への活動内容の発信と周知
- ・ HP、SNSの更新をすることによる、魅力あるMAK・JCの活動を対外に発信
- ・ 行政との意見交流会
- ・ 担当月の事業担当委員会がSNSアップ
- ・ 毎月の理事長挨拶と今月の活動内容のお知らせメール
- ・ 福井ブロック協議会における事業の積極的参加や他LOMとの交流